科目名	介護	介護等体験 Nursing Care Experience									
科目担当者	雜賀	雜賀 智子 SAIGA Satoko / 小野 創太 ONO Sota									
単位数	2	配当年	F次	3年	授業形態		実習	開講学期	朔	通年	
履修学部・学科 [区分] 他学部他学科履修					4目 自由和 5科目 自由]	ディプロ・ ーとの関連		(1)(6)	
授業の概要	する 必要 具体 目標	本講義では、命の尊厳および人権意識について学習するために、障がいのある児童生徒に対する支援の方法や内容について学び、実践的な体験を行う。このことを通して、教師として必要な人間性を養うことが目標となる。 具体的には、介護等体験を行う意義についての講義とグループワーク、実習校研究や自らの目標を明確化した発表、必要書類の作成などを行い、体験への準備とする。その後、特別支援学校における実習を行い、終了後に実習の振り返りおよび報告書の作成を行う。									
授業の到達目標	2障	①介護等体験の意義と心構えについて理解する。 ②障がいのある児童生徒に対する支援の方法やその内容について学ぶ。 ③介護等体験を通して、教師に必要な人間性を高める。									
授業計画・内容	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14	2 介護等体験とは何か 3 実習校である特別支援学校の研究 4 実習校研究のまとめ 5 介護等体験事前指導 6 実習1日目 7 実習2日目 8 実習3日目 9 実習4日目 10 実習5日目 11 実習6日目 12 実習7日目 13 実習の振り返り 14 介護等体験報告会①									
授業外学修 (事前学修)	実習	実習への準備として実習校研究を行い、具体的な目標を設定する(15 時間程度)。 実習に向けた事前書類や事前指導レポート等の体験前の提出書類を作成する (30 時間程度)。									
授業外学修 (事後学修)	お礼	お礼状と報告書の作成、提出を行う(15 時間程度)。									
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応				成績評価	方法			評価比率	到	達目標との対応	
	実習	引以降:出	席状況、	参加姿勢	ポートによる 分、体験実習 る総合的な言	先指導		60% 40%	①、 ③	2	
成績評価基準	優良可不可	秀: (評点 90 点以上) 到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優: (評点 80 点~89 点) 到達目標を高い水準で達成している場合 良: (評点 70 点~79 点) 到達目標を一定の水準で達成している場合 可: (評点 60 点~69 点) 到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可: (評点 60 点未満) 到達目標に達していない場合 ※実習前の評価(中間評価)により、実習への参加が認められない場合がある。									
教科書	る介	全国特別支援学校長会・全国特別支援教育推進連盟 編著 (2020). 『特別支援学校における介護等体験ガイドブック 新フィリア』ジアース教育新社 宮崎産業経営大学 『介護等体験の手引き』									
参考文献											
その他	あら	あらかじめ、特別支援教育概論、教育心理学を履修しておくこと。									
		- '	40					~			